

CASBEE広島 2013年追補版Ver.2(BPI/BEI対応)  
 エネコム広島ビル

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります  
 欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2013年追補版  
 ■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.34</b>					<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>3.0</b>	0.15	-	-			<b>3.0</b>
<b>1.1 騒音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.60	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
<b>1.3 吸音</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>3.3</b>	0.35	-	-			<b>3.3</b>
<b>2.1 室温制御</b>		<b>3.7</b>	0.50	-	-			
1 室温	10階事務室エリアは熱負荷の75%容量×2系統とし余裕を持たせ	5.0	0.38	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.25	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2.3 空調方式</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.1</b>	0.25	-	-			<b>3.1</b>
<b>3.1 昼光利用</b>		<b>3.4</b>	0.30	-	-			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	9階、10階事務室エリアで昼光センサーによる照度制御を導入	4.0	0.40	3.0	-			
<b>3.2 グレア対策</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-			
<b>3.4 照明制御</b>		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.2</b>	0.25	-	-			<b>3.2</b>
<b>4.1 発生源対策</b>		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	-			
4 給気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		<b>4.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	1階、9階、10階に喫煙室を設置	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.9</b>
<b>1 機能性</b>		<b>3.4</b>	0.40	-	-			<b>3.4</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		<b>3.3</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	0.33	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応	事務エリアコンセント容量40VA以上。通信用スペースを複数確保	4.0	0.33	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	0.33	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		<b>4.6</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	事務室エリア天井高2700以上とし窓を設置。	4.0	0.33	3.0	-			
2 リフレッシュスペース	1階に休憩コーナー(自販機あり)とラウンジを設置。	5.0	0.33	-	-			
3 内装計画	インテリアパースの作成、1階エントランスに間接照明の設置。	5.0	0.33	-	-			
<b>1.3 維持管理</b>		<b>2.5</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>4.3</b>	0.31	-	-			<b>4.3</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>		<b>5.0</b>	0.48	-	-			
1 耐震性	免震構造建物でレベル2において許容応力度設計。	5.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能	免震装置の導入。	5.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		<b>3.2</b>	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトにガルバリウムダクトを利用。	4.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	ビニルライニング鋼管、ステンレス鋼管等を利用。	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

<b>2.4 信頼性</b>			<b>4.8</b>	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	各階分散の換気システム、事務室エリアに複数系統の空調を設	5.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水型衛生器具の採用、災害時用汚水貯留槽を設置。	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備	発電機、UPSの設置、電源の二重化。	5.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法	耐震クラスA。	4.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	引込ルートの複数化、重要機器を2階以上に設置。	5.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>4.0</b>	0.29	-	-	<b>4.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.31	-	-	
1	階高のゆとり	各階階高4m以上。	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.15	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.31	<b>3.0</b>	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>4.4</b>	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性	各所にパイプスペースを設置。冷媒配管ルートとして屋外を利用。	4.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性	各所にパイプスペースを設置。	4.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性	各所にEPSを設置。	5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性	各所にCS(ケーブルスペース)を設置。	5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	設備機器専用エレベーターを設置。	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース	発電機増設スペース、室外機増設スペースを確保。	4.0	0.22	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.36</b>	-	-	<b>3.8</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		建物高さ、バランス等に配慮した計画。	<b>5.0</b>	0.40	-	-	<b>5.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.9</b>
<b>1 建物の熱負荷抑制</b>			<b>5.0</b>	0.13	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.5</b>	0.25	-	-	<b>3.5</b>
2.1	自然エネルギーの直接利用	電気室への外気冷房の導入。	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3 設備システムの高効率化</b>		LED照明器具採用等による省エネルギー化	<b>4.3</b>	0.37	-	-	<b>4.3</b>
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	#VALUE!		-	-	
		集合住宅の評価	5.0		-	-	
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.5</b>	0.25	-	-	<b>3.5</b>
4.1	モニタリング	BEMSを設置しエネルギー管理を可能とする。	<b>4.0</b>	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.15	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>		節水型衛生器具の採用。	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.8</b>	0.63	-	-	<b>3.8</b>
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	節水型大便器・各所トイレ、LED照明器具：建物全体	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨造であり、仕上げと躯体の分離が容易。	5.0	0.24	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.2</b>	0.22	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			<b>3.0</b>	0.32	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			<b>3.3</b>	0.68	-	-	
1	消火剤	窒素ガス消火を設置。	4.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LED照明器具の採用等による省エネルギー化	<b>3.5</b>	0.33	-	-	<b>3.5</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.7</b>	0.33	-	-	<b>2.7</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			<b>4.0</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	雨水貯留槽を設置。	4.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な駐車場、駐輪場の確保。	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	1階にゴミスペースを設置。	4.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光外対策ガイドラインを順守。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	